

熱田区の

企業いろいろ！

[日本車輜]

[歴史]

• 日本車輜は1896(明治29)に外国の車両を輸入し続けなかったために鉄道の国産化を図り、奥田正香(おくだまさか)さんが「日本車輜製造(株)」として会社を設立。設立後、汽車や鉄道をつくり高度な溶接を得意としていました。鉄道だけでは生きていけないと思ったため、いろんなことに溶接を生かしていろんなものをつくっていった。

• 1930(昭和5)年に乗用車の試作に着手し、米国の乗用車[ナッシュ]をモデルに分担した。

↳ 1931(昭和6)年に名古屋を盛り上げるために車を日本車両(フレームと車体)・大隈鐵工所(機関と伝達装置)・岡本自動車(車輪とブレーキ)・愛知時計機械(?)の4社で作った。

↳ 1932(昭和7)年に日本初の本格的乗用車「アツタ号」を完成。その後、元々の仕事が忙しくなり1940年に販売と製造を完全停止させの間に、合計37台を納入した。

(アツタ号は、色んな種類がある。)

[その後]

日本初のモノレールや日本初の实用磁気浮上式リニアモーターカーなどを制作しました！



↑名古屋城の前で撮られたアツタ号
(貰った資料より)

[今作っているもの]

• 日本・海外の鉄道・新幹線・大型無人搬送車・コンテナ・タンクローリー・タンクトレーラー・橋・建設機械です。

なので、皆さんどこかで見たことがあるかもしれませんね。

[大和田(うなぎ屋さん)]

[歴史] (現在：二代目の今枝(いまえだ)さんからのお話)

- 大和田はもともと戦前から現在の場所で大祖父と祖母が「鳥幸」という名前のかしわ(鶏肉)料理店をやっており、戦後になって経営を広げ、大祖父は熱田区夜寒町で「賀城園」という料亭をし、旗屋町で「旗屋シネマ」という映画館を始め、「鳥幸」の場所で祖母が鶏肉販売の店、父がうなぎ屋さんを始めたのが始まり。
- 名前の由来…大祖母が東京に知り合いのうなぎ屋さんが出て、その名前が「大和田」で、気に入ったためそこにしなさいと勧めたのがきっかけ。

おすすめの一品について聞いたところ、「私個人の考えとしておすすめの一品はありません。理由としては、細かく切ったうなぎと大きく切ったうなぎとでは味や食感が違うので、おすすめより、お客様の好みでお客様の好みで選ばれるほうが良い。」と答えてくれました。

【宮きしめん(きしめん屋さん)】

[歴史]

- 宮きしめんは大正12(1923)年に創業、熱田神宮の宮司さまが「参拝客のためにきしめんを提供してはどうか」とお言葉をいただき最初は「桜製麺」という名前だったが、熱田神宮から「宮」をいただき、いまの「宮きしめん」となりました。

[商品・メニューの紹介]

熱田神宮にある、宮きしめんでは働いている人に「おすすめのメニュー」を聞いたところ、「全部と言いたいたいですが、

[大吉きしめん]がおすすめです。」と話していました。

★大吉きしめん…宮きしめんと違って白つゆ、大きなエビ、たいくじがついていて当たるとおまんじゅうがもらえそうです。

☆最後に宣伝

[日本車輜]



←車内にこのようなプレートがあります

電車や新幹線に乗る時、よかったら日本車輜の名前があるか探してみてください！

[大和田]

地下鉄・神宮西駅の1番出口より真っ直ぐ行くと大和田の看板が見えるので、近くに来た際は立ち寄ってみてください！

(営業時間:11時00分~13時45分・16時30分~19時45分)

(定休日:毎月第3月曜・毎週日曜日・売り切れ次第終了)

[宮きしめん]

熱田神宮の他に7つの店舗があり、「宮きしめん」のホームページよりお取り寄せができるのでどこでも食べられます！(営業時間:9時~16時30分)(定休日:なし)